

国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ



いざ中国へ！

香川県交流推進部観光振興課国際観光推進室 室長補佐 大山 佳伸

私とクレアとのつながりは、遡ること18年前。今でこそなくなりましたが、国際交流短期研修事業（クレア国際塾）でアメリカに3か月派遣され、語学研修と地方政府でのインターンシップを体験させていただきました。

それから約5年。再びクレアとのご縁をいただき、東京本部で1年間勤務した後、2009年4月から2年間、中国の首都・北京で仕事をすることをいただきました。

当時の日本メディアから流れてくる中国の情報は、PM2.5を含む光化学スモッグで空が真っ白になった光景や中国産ギョウザへの農薬混入事件などネガティブな情報で溢れていたため、幼い子どもを伴っての中国赴任は不安だらけでした。しかし現実の中国の姿は報道と大きく違っており、米国に次いで世界第2位の経済大国になることを予兆する片鱗が至る所で見られ、大きく成長する中国の可能性を直接肌で感じながら業務に携わるといふ貴重な経験をさせていただきました。

北京滞在中は、中国の地方政府と日本の自治体間の各種交流業務の支援や旅行博への出展、情報発信、各種調査など多岐にわたる分野の業務を担当させていただきました。特に地元である香川県関係者が出張で中国を訪問した際の中国事情のブリーフィングやアテンド業務などは稀有な経験であり、その後の県庁人生で国際関係業務に携わる際の実務面での経験値を高めることができたと感じています。

帰国後は国際課に配属され、当県の友好県省提携先である中国陝西省との交流業務等を担当し、その後東京事務所勤務を経て、現在は国際観光推進室に籍を置いて、東アジアからのインバウンド誘客業務を担当しています。北京在任中に多くの日本自治体が中国各地で誘客活動を実施していましたが、私がクレアから香川県庁に復帰した後、当県も上海との間で直行便を開設し、中国からの誘客活動をより一層強化することとなりました。現

在は新型コロナウイルス感染症の影響で中国人観光客は大幅に減っている状況ですが、誘客活動再開の折には、北京赴任で得られた知見・経験・語学力を十二分に活用し、当県への中国人観光客の誘致に精力的に取り組んでいきたいと思っております。



北京国際旅游博覧会へのブース出展の様子



日中地域間交流推進セミナー実施後に現地メディアから取材を受ける筆者

プロフィール

- 現職
香川県交流推進部観光振興課国際観光推進室 室長補佐
- 業務内容
中国、台湾、香港等からの誘客業務
- クレア時代の所属
2008年4月～2009年3月 総務部企画課
2009年4月～2011年3月 北京事務所